

ID No.	113
研究課題名	臍帯血を用いた新規細胞移植療法の開発のための臨床統計解析
研究代表者	山口 拓洋 (東北大学大学院・教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	高橋 聡 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究報告書	
1. これまで医科研造血細胞移植チームが実施してきた臍帯血を用いた細胞移植療法に関する臨床データについて、データの整理を行った。特に、データ解析の観点から競合危険データの取り扱いについて再度検討し規準を作成した。 2. 1のデータを用いて、初年度は、移植後 GVHD と再発、予後との関連を検討し、日本血液学会総会 2011 において「臍帯血移植後の GVL 効果」と題して共同発表を行った。HLA 一致度および細胞数など「最適な臍帯血グラフト選択のための指標を同定する」という内容でアメリカ血液学会年会 2011 にて共同発表を行った。次年度は、「骨髄破壊的前処置を用いた急性白血病に対する非血縁者間臍帯血移植において急性 GVHD の重症度が移植成績に与える影響」について欧州骨髄移植グループ年会 2012、日本血液学会年会 2012 にて共同発表を行った。最終年度は、「骨髄破壊的前処置を用いた非血縁者間臍帯血移植において重症慢性 GVHD の発症、肺 GVHD の発症が移植成績に与える影響についての解析」に関して、欧州骨髄移植学会年会 2013 にて共同発表を行い、「臍帯血移植後の重症慢性 GVHD が生存に与える影響」に関して、日本血液学会年会 2013 にて共同発表を行った。 3. 同種移植後ウイルス特異的細胞療法の確立に向け、高橋聡先生を班長とした研究班が発足し全国体制による研究基盤整備、特に、品質マネジメントを中心とした臨床研究支援体制の構築に着手した。	